

# BIOMIMETICS

バイオミメティクス・市民セミナー

齋藤 裕 (北海道大学 名誉教授)

## 糸の匠、 すごもりはだに

2016年11月5日 (土)

会 場：北海道大学総合博物館 / 1階「知の交流」  
札幌市北区北10条西8丁目

時 間：午後1時30分から 午後3時30分

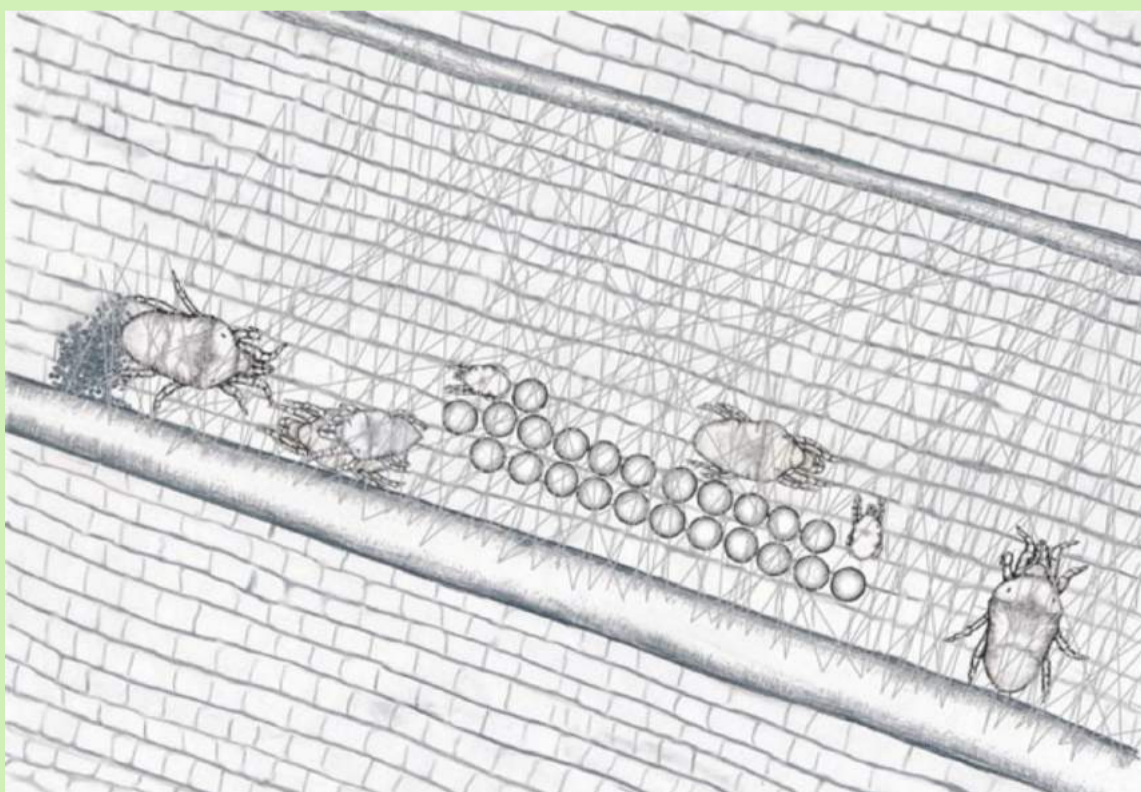


ウマノアシガタ  
Photo by Stan Shebs (2007)  
/ Adapted. CC BY-SA-3.0

ハダニは植物の葉に寄生する微小な (0.5mm以下) 節足動物です。

しばしば、作物や樹木に大発生して、甚大な被害をもたらすので、農林業の大害虫として嫌われものです。ただし、ハダニ類は大きな動物群で、世界で約1200種が知られています。その中には、害虫になる種以外に様々な種が、独特の生活様式をもって多様な植物に生息しています。

このハダニ類の中に、ササ・タケに寄生するスゴモリハダニ属というグループがあります。絹糸で密な巣網をつくり、その中で社会生活を営むので、この名前がつけました。いわゆる「引きこもり」のハダニです。そのような生活が、なぜこのグループに進化したのでしょうか。糸が、巣材以外にも様々な機能を持っていることが明らかになってきました。今回は、糸を操るクモに匹敵するような巧みな糸の利用方について紹介し、本グループの進化にせまってみたいと思います。



主 催：北海道大学総合博物館  
共 催：科学研究費 新学術領域「生物規範工学」  
高分子学会北海道支部  
協 賛：千歳科学技術大学バイオミメティクス研究センター

北海道大学総合博物館  
060-0810 札幌市北区北10条西8丁目  
問合せ先：TEL. 011-706-2658 FAX. 011-706-4029  
E-mail: museum-jimu@museum.hokudai.ac.jp